

# 徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 総括評価表

		自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策													
重点課題	重点目標	評価指標 (と活動計画)		評価		学校関係者の意見													
		評価指標	活動計画	評価指標の達成度	総合評価														
I 自主的・主体的な学習習慣を確立し、学力の向上・定着を図るとともに、自ら考え、判断し、意見を述べることができる生徒の育成をめざす。	<p>《全校レベル》</p> <p>生徒自身が考え判断し実践できることをめざし、また、意欲的に学習に取り組む習慣を確立できるような学習指導の工夫や授業改善に取り組む。</p> <p>《下位組織レベル》</p> <p>①年間2回の相互参観授業の実施や教員研修会、授業評価を通じて、教員の授業力の向上を図る。 [全教員]</p> <p>②週課題は、思考力の育成や自主的な学習活動に繋げる。 [看護科]</p> <p>③自主的学習習慣を支援するため、課題学習の工夫・改善を図る。 [専攻科]</p> <p>④生徒に学習の具体的な目標を持たせるため、各テスト(看護科目実力テスト、課題テスト、実習前総合評価、看護科目確認テスト、基礎看護技術テスト、校外模試)を計画的に実施し、事後の個別指導の充実を図る。</p> <p>[教務課、進路指導課、看護科、各教科担任、HR担任]</p> <p>⑤主体的学習活動を支援するため、ディベートの実施やICTの活用等、授業の手法を工夫する。 [全教員]</p> <p>⑥専門領域の教員研修に取り組み、専門科目の指導の充実を図る充実を図る。[全教員]</p> <p>⑦家庭学習を充実させるため、予習・復習を必要とする授業展開や指導方法を工夫する。 [全教員]</p>	①相互授業参観週間を年2回実施し、評価に基づいた授業改善を行う。	②週課題の出題内容の充実を図り、テーマを設定した調べ学習を各学期1回以上設定する。	③授業評価で「家庭学習(予習復習・課題)ができた」が70%以上	④授業評価で「発表や質問、返答が積極的にできた」が70%以上	⑤学年末成績平均が60点未満の生徒は、保護者を交えて次年度の学習への取り組みや、学校生活について面談を行う。	⑥専攻科において、実習後の振り返りを行い、思考判断能力の向上が見られる。	⑦「課題発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」手法を取り入れる。	⑧授業にICTを積極的に活用する。	⑨専門領域の外部講師を本年度も継続して招聘し最新情報を取り入れる。	⑩定期考査や模擬試験返却時、個人面談を行い、個々に応じたアドバイスや指導を行う。	⑪定期考査・課題テストにおいて60点に満たない生徒は補充学習を行い、学力の向上を図る。	⑫「政治や選挙への関心や政治的事象への関心が高まった」と答えた生徒が70%以上。	相互授業参観を6月と9月に実施した。参観後、授業者と参観者が意見交換を行い効果がみられた。	A	(評定)	ほぼ全ての科目において少人数指導を取り入れ、きめ細やかに指導を行うことが生徒からの高評価につながっている。	生徒は入学時点で自らの将来の目標を定めている。しかし日々の目標を持たない生徒も多いように思われる。	
		調べ学習を各学期1回以上は設定し発表をさせることで思考力やコミュニケーション力の向上につなげている。	A	「家庭学習(予習・復習)ができた」が74.0%であった。	A	「発表や質問、返答が積極的にできた」が74.3%であった。	A	学年末成績平均が60点未満の生徒や成績下降が著しい生徒は、学期末に保護者を交えて面談を行った。また定期考査前にも個人面談を行った。	A	看護過程の授業等において実習の振り返りをグループワークし、自分が行った看護について新たな気づきが得られている。	A	思考力やコミュニケーション力の育成を図るために、グループワークや発表の機会を増やす等の工夫をしている。	授業においてICTを積極的に活用し、効果的な授業展開を工夫している。	基礎看護、老年看護、成人看護学、小児看護学、在宅看護論、精神看護学の分野で外部講師を招聘し講演・講義を行った。	定期考査前後に個人面談を実施した。また成績不良者に対しては、振り返り学習の指導を行った。	学年末成績が60点に満たない者に対し、に担任、学年主任が生徒、保護者に対し面談を行った。また課題テストにおいて60点に満たない生徒は補充学習を行った。	「政治や選挙に関心がある」と回答した生徒は僅か18.8%だった。「学校の授業等で政治や選挙に関する知識が得られた」と回答した生徒は59%となった。	授業者は授業において90%以上の生徒が授業に対し「興味・やる気を持って取り組んでいる」、	そのため、看護師になるという経過においても、看護師資格を取得した後にあっても様々なスキルアップの道があることを理解させ、より具体的で高い目標を持てるよう指導する必要がある。
		「教員の説明に集中した」と答えている。	A	教員は積極的にICTを活用し、主体的な学習ができるよう取り組んでいる。	卒業後、ほとんどの生徒が看護師として病院や施設等に就職する。そのため知識に基づいた問題解決能力やコミュニケーション力の向上に努める必要がある。														